

Q・023

オンラインを聞きやすくする方法はありますか？

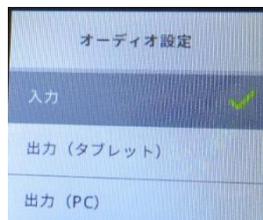


スピーカーから出る音は、聞こえにくい
です。補聴援助システムをタブレットやパ
ソコンにつないで直接音を補聴器や人工内
耳に送ることで、聞こえやすくなります。

方法は“オーディオケーブルでつなぐだ
け”です。イヤホンジャックに差し込むだ
けで、自動で反応してくれます。ケーブル
は、補聴援助システムを購入した際に、セ
ットについてきています。

人によって、使っている補聴援助システ
ムは異なりますので、いくつか紹介してい
きたいと思います。

<フォナック・ロジャー>



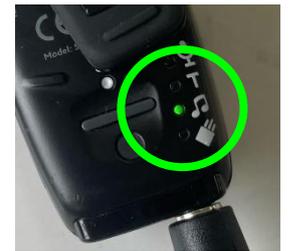
•ケーブルを差し込むと、「オーディオ設
定」画面が表示されます。「入力」にチェ
ックが入っていることを確認しましょう。

•接続されると、ミュートボ
タンが点滅します。

•周囲の音も拾いたい場合
は、ミュートを解除しましょ
う。



<ココレア・ミニマイクロフォン2プラス> <リサウンド・マルチマイク>



•ケーブルを差し込むと、モードランプの
音符マークが光ります。

<オーティコン・エデュマイク>



•ケーブルを差し込むと、マイクマークの
光がオレンジ色に変わります。

この方法は日常生活でも活用できます。
テレビや携帯、ゲーム機にもつなぐことが
できます。この方法で、余暇をより楽しん
でいる人もいます。(テレビで使用する場
合は、機種にもよりますが、テレビ側の設
定を変えることで、周囲にも音が聞こえる
ようになります。)



聞こえる人もイヤホンを使用すると、耳元でよく聞こえますよね。そのようなイメージです。

教師が気をつけること

① マイクを使う。

聾学校では、教師の声がよく届くようにピンマイクを使っています。ヘッドホンタイプも同様ですが、マイクが口元に近いとよく音を拾ってくれます。口元にマイクがあるのとないのでは、聞き手にとって大きく違います。



② 文字で提示する。

普段の授業でも大事なことですが、オンライン授業ではより必要な手立てになります。簡潔で分かりやすいように文字情報にして提示します。事前にスライドを用意しておいたり、紙に書いて提示したり、共有画面に直接入力したりと色々な方法がありますね。

③ 音声変換アプリを使用する。

UDトークを使用し、音声を瞬時に文字情報に変換する方法もあります。文字情報が多くなりすぎてしまうため、発達段階に応じて使用しています。また、必要な場面に絞り、部分的に活用しています。

<写真は各メーカーの了承を得て使用しています。>

